

たんぽぽ

第38号改訂版 三州病院広報誌 2010年8月号

緩和ケア勉強会

当院では職員の知識と技術の習得のために、H20年4月より毎月1回緩和ケア委員会の主催により緩和ケア勉強会を行っています。テーマはスタッフの要望や意見をもとに選定し、緩和ケア病棟医長の晶子先生や認定看護師の松元総師長、緩和ケア病棟のスタッフが中心となりテーマに沿って講義し意見交換を行っています。

7月は「高カルシウム血症」について勉強会を行いました。よりよい看護を行うためのアセスメントの方法や、高カルシウム血症と病気・病態の関係性、薬剤使用時の注意事項など、日常のケアに生かせるような勉強会内容で、活発な意見交換ができました。

今後も実際の看護業務で生かせるよう勉強会を継続して取り組んでいこうと思います。

緩和ケア委員会：池添 キヨミ



ステーション勉強会

7月24日(土)に、地域包括支援センター・訪問看護ステーション・居宅支援事業所の皆様を対象に『第1回 在宅ケア勉強会』が行なわれました。

今回は「今、在宅にもとめられるもの～がん医療の立場から～」と題し、横山晶子先生に講演をしていただき、その後フリーディスカッションを行ないました。

いま困っているケースや、これまでの経験で困ったケース、その解決案をお互いに意見交換し、とても良い場が持てました。

勉強会終了後のアンケートからは、患者さんのQOLの向上が大切である、地域のサービスと医療機関との連携が必要である、また参加したい等有難いご意見を頂きました。

今回の勉強会で頂いたご意見を参考にし、次回もまた実りある勉強会にしていきます。

ソーシャルワーカー：林 里紗





特定健康診査・後期高齢者健康診査

平成20年4月から、従来の成人病予防健診に代わり特定健診・特定保健指導がはじまりました。特定健診とは、メタリックシンドローム(内臓脂肪症候群)に着目した生活習慣病予防のための健診です。この健診の結果から特定保健指導(運動指導・栄養指導)の対象者が選定されます。同じように、後期高齢者健康診査も、生活習慣病等の早期発見・早期治療を目的としています。

《特定健康診査》

対象者	医療保険に加入している40歳～74歳までの被保険者及び被扶養者
期間	国民健康保険(6月1日～9月30日) 社会保険(受診券にそれぞれ記載あり)
内容	(1)基本項目(問診、身体計測、診察、血圧測定、血液検査、尿検) (2)前年度の健診結果に基づいて医師の判断により実施する項目(心電図検査、眼底検査)
料金	国民健康保険(無料) 社会保険(保険者により異なりますので受診券を御確認下さい)
受診方法	「特定健康診査受診券」と「健康保険被保険者証」を提示してください。なお、前年度の健診結果をお持ちの方はご持参ください。
特定保健指導	健診結果に応じて、保健師や栄養士による指導を受ける対象となる場合があります。対象者には、保険者より別途通知が届きます。

《後期高齢者健康診査》

対象者	後期高齢者(75歳以上の人) ※長期入院者などを除く。
期間	6月1日～9月30日
内容	(1)基本項目(問診、身体計測、診察、血圧測定、血液検査、尿検査) (2)前年度の健診結果により実施する項目(心電図検査、眼底検査)
料金	無料 ※内容(2)の心電図・眼底検査は、保険診療(有料)
受診方法	「後期高齢者健康診査受診券」と「後期高齢者医療被保険者証」を指定医療機関の受付で提示してください。なお、前年度の健診結果をお持ちの方はご持参ください。

※当日朝食は取らずに、午前中お越し頂ければ受診可能です。予約は必要ありません。



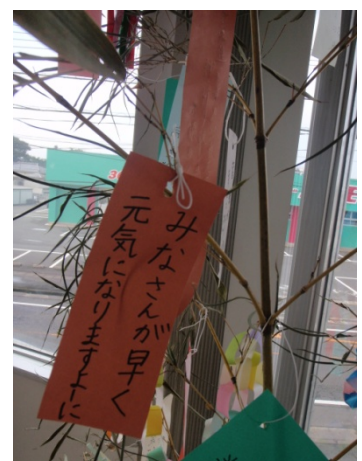
短冊を飾りました

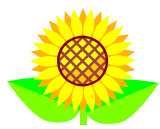
7月7日、この日は七夕でした。当院でも受付、急性期病棟、緩和ケア病棟に竹を飾り、患者さまやスタッフに短冊を書いてもらいました。

「母が早く元気になりますように」「元気に退院して頑張りたい」など、病気からの回復を願うたくさんの短冊がありました。

また、「口蹄疫が早く終息しますように」と地域を想う気持ちが書かれた短冊もありました。多くの願いが実現すればいいですね。

事務・受付: 徳満 忍





新入職員紹介



事務・受付 渡辺文人

3月に事務員として入社し、院内設備の管理や業者さんとの対応・受付・レセプト業務や経理業務のサポートを行っております。院内で見るもの、触れるもの、感じたこと全てが医業に繋がるという思いを胸に、患者様にとって居心地の良い環境作りに励んでいきます。
院内であまりお会いする機会はないかもしれませんが、どうぞ宜しくお願い致します。



薬局助手 小川順子

入社して3カ月が経ちます。薬局助手の業務に携わっています。最初はわからないことが多くて周りのスタッフの方々に助けられ、毎日学ぶことばかりでした。
今まで習得したことを活用し業務に貢献できるよう、初心を忘れず、職員・患者さまとのコミュニケーションを図りながら、一生懸命頑張っていきたいと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。



外来看護師 前田哲

皆様はじめまして。外来・手術室で看護師をしています。
宮崎市の病院で5年間手術室勤務をしておりました。三州病院では病院理念である「患者さま中心の質の高い医療の提供」ができる看護師を目指し、日々努力し邁進して参りたいと思っております。
宜しくお願い致します。



外来看護師 新留由加里

5月から外来で勤務させてもらっている新留(しんどめ)です。
循環器病棟で7年程勤務していました。外来は初めてで、検査や処置などバタバタと忙しい毎日ですが、優しい先輩方のお陰で楽しく勉強させてもらっています。消化器、乳腺、肛門科の他にも、肝臓、循環器、呼吸器科などの専門外来もある為、毎日が勉強で、とてもやりがいがあります。
人と人との出会いを大切に、患者さんに寄り添っていける看護師になりたいと思っています。
これからも宜しくお願い致します。



緩和ケア病棟看護師 上田美由紀

5月から緩和ケア病棟で勤務させて頂いています。
看護師1年生でもあり、新たな環境の道へ進むと決意し、三州病院に就職できた事を嬉しく思います。これから1つ1つ、緩和ケアの奥深さを学びながら知識を深めていきたいと思っております。
不器用な私ですが、宜しくお願い致します。

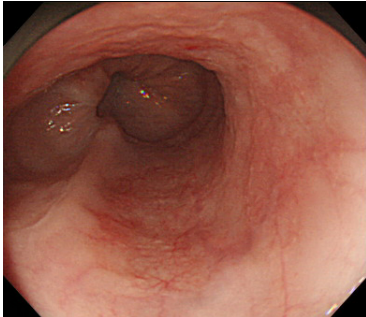
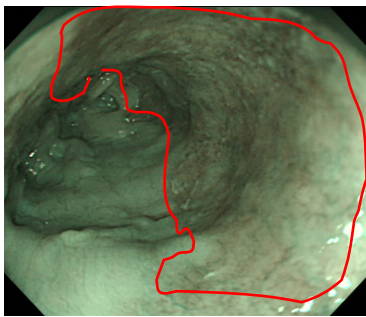
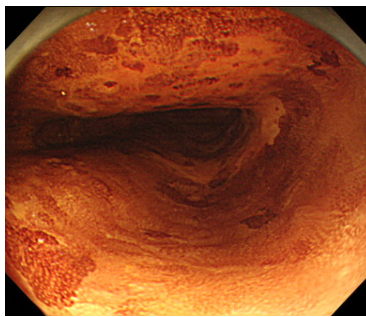


新規導入装置紹介

当院は、NBIを採用した最新鋭の内視鏡システムを導入しています。

平成22年4月から、NBI内視鏡システムを導入しました。

NBI(Narrow Band Imaging:狭帯域光観察)は、従来の内視鏡とは異なる光源装置を使い、拡大内視鏡を併用することにより、粘膜や腫瘍の細かな血管や構造を、鮮明に描出できる画期的なシステムです。現在、大学病院など多くの専門病院で臨床研究が盛んに行われていますが、胃がんや食道がんの早期発見が期待されています。今までと変わらない胃カメラで、苦痛なく胃や食道の早期がん発見が可能になりました。

①【通常の観察】	②【NBIを使用した観察】	③【特殊染色をした観察】
		

通常、皆さんがされている胃カメラは①のように見えます。

以前は、③のような染色液を散布していましたが、検査後に胸焼けを起こす事がありました。

そこで、前述したNBIを使用しますと、②のように病変部が鮮明に分かるようになります。

患者様に苦痛なく、異常の早期発見が出来る最新鋭の内視鏡検査を是非受けてみませんか？

外来主任:原崎 礼子

編集後記

梅雨も明け、冷たいビールの美味しい季節になりますね。くれぐれも飲み過ぎには注意して楽しく飲みましょう。また、この時期は熱中症や食中毒などにも注意して、暑い夏を楽しく過ごしましょう。先月号と今月号で各種がん検診、特定健診について取り上げておりますので、ご自分の健康が気になる方、そうでない方も是非一度ご受診下さい。詳しい内容については当院職員にお気軽にお尋ね下さい。



(財) 日本医療機能評価機構 Ver.5 認定施設

日本外科学会外科専門医制度修練施設

(医) 倫生会 **三州病院**

消化器病センター

住 所：宮崎県都城市花繰町3街区14号

TEL：(0986) 22-0230 FAX：(0986) 22-0309

Eメール：sanshu2@mx71.tiki.ne.jp

ホームページ：http://www.sanshu.org

ホームページ・広報誌委員会責任者：友重 雅美

